

集中化の事例 1 (棟間)

△ 2,000 0 2,000 4,000

小学校
小学校
小学校
小学校
小学校
小学校
小学校
小学校
小学校
小学校
小学校
小学校
小学校
小学校
小学校
中学校
中学校
中学校
中学校
中学校



【与条件】

D・E棟 ⇒ 新耐震校舎

A・B・C棟 ⇒ 旧耐震校舎

耐震補強順位 A→C→B

保有面積－基準面積＝450m²

A棟 → 解体

機能分散

E棟

B棟

C棟

B・C棟を集中して補強

総量縮減(約450m²)＋予算縮減

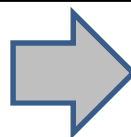
校舎基準面積と保有面積の差

集中化の事例 2（階層間）

減築設計の提案



提案



現在工事中

消防署分署 (S.49竣工) の耐震補強工事

構造・規模： RC造 3階建て (PHあり)

延床面積： 1,462 m²

建築年月： 昭和49年 (1974年) 10月

利用状況： 3Fはほとんど未利用 (約400m²)

不要な上層階を減築することにより耐震補強工事費総額を削減